

海上における船舶ための共通通信システムの在り方及び
普及促進に関する検討会WG 第1回会合 議事要旨 (案)

1 日時 平成20年5月13日(火) 14:30~16:30

2 場所 総務省10階 1001共用会議室

3 出席者

(1) 構成員(敬称略)

林 尚吾(座長)、足立 利男、天辰 弘二、有竹 信夫、稲垣 好人、
大久保 隆洋、大西 泰史、蒲田 浩二、窪田 英弥、小泉 一葉、河野 順、
斎藤 春夫、清水 偉行、杉浦 毅、谷道 幸雄、田原 孝義、津幡 岳弘、
中村 勝英、増田 正司、待場 純、宮寺 好男、山崎 保昭、山田 力、
山本 廣、渡辺 悟

(2) 事務局

名執衛星移動通信課長、坂中企画官、濱崎課長補佐、岡調整係長

4 議題

(1) 利用者の要望

(2) 諸外国における免許制度の現状

(3) WGにおける今後の検討事項

5 議事概要

※ 説明内容の詳細は資料内容のとおりであるため、省略。

(1) 利用者の要望

海上保安庁、(財)日本セーリング連盟、(社)大日本水産会から衝突海難の現状や提案事項等について説明があり、次のような議論がなされた。

- ・ 外国国籍船も多数航行している現状を踏まえると、異業種船舶間での共通通信システムとしては国際VHFが望ましい。(漁船関係構成員)
- ・ 本議論において「国際VHF」と「マリンVHF」を引き合いに出しているが、必ずしもこれらに対する一同の認識が一致しているとも限らないので、これらの定義を明確にして確認する必要がある。(漁船関係構成員)
- ・ マリンVHFは国際VHFの一部のチャンネルを使用しているものであり、無線従事者資格を3級海上特殊とすることで幅広くプレジャーボート等でも利用を可能としている。その一方で、トラフィック量調整のため、出力を5Wとし、通信時間を制限している点、またマリンVHF特定のIDを付している点で双方向無線電話等の国際VHF無線機器と異なる。(通信機メーカー構成員)

- ・海上共通通信システムの検討における技術的なアプローチとしては、どのような方向性がよいか。考えられるアプローチとしては、既存無線設備の普及促進、新規無線設備の構想、あるいは 27MHz 帯無線通信と国際 VHF 無線通信の融合といったようなものが挙げられる。
- ・本検討会における新しい通信システムの構想は、時間の制約上難しいと思われる。また、マリン VHF の実情について検証し、共通通信システムの検討に反映すべき。(プレジャーボート関係構成員)

(2) 諸外国における免許制度の現状

事務局から諸外国における非義務船舶局の免許制度の現状について説明があった。次はその一部。

- ・国際電気通信連合条約無線通信規則では、国際 VHF の使用に対し、無線従事者資格が義務づけられているが、米国のように、国内を航行する非義務船舶間での通信に限り、個別免許を不要としている例もある。

(3) WGにおける今後の検討事項

事務局から、WGにおける今後の検討事項について例として案を示した。その際、次のような議論がなされた。

- ・共通通信システムの在り方について検討する上で、システムの機能そのものとは別に、システムの運用の仕方、具体的にはシステムを利用するユーザーの教育といった観点が必要である。(関係省庁構成員)
- ・普及を図る上で無線従事者資格、無線局免許等についての規制緩和は重要なポイントとなってくるが、規制緩和をする場合には、教育のフォローが欠かせない。(船主関係構成員)
- ・普及を優先的に考えるのであれば、システムの機能についてはハードルを低く設定する必要がある。(海難防止関係構成員)
- ・普及を十分に配慮するのであれば、共通通信システムを国際規格に合わせる必要がある。(通信機メーカー構成員)
- ・無線機器を低コストにすることで普及を図り、それによりまた、無線機器の低コスト化を図るといったような好循環が望ましい。(プレジャーボート関係構成員)

【配付資料】

- 資料海共 WG1-1 「海上における船舶のための共通通信システムの在り方及び普及促進に関する検討会」WG構成員名簿（案）
- 資料海共 WG1-2 大型船と小型船の衝突海難について
- 資料海共 WG1-3 漁船やプレジャーボートが捜索救助機関等の現場通信（緊急時の連絡手段を含む。）を確保するための条件
- 資料海共 WG1-4-1 国際 VHF の国内及び海外プレジャーボートの利用条件
- 資料海共 WG1-4-2 第 1 回WG提案事項
- 資料海共 WG1-5 諸外国における非義務船舶局の免許制度の現状
～国際 VHF 無線設備を中心に～
- 資料海共 WG1-6 ワーキンググループにおける今後の検討事項（案）

【参考資料】

- 参考海共 WG1-1 海上における船舶のための共通通信システムの在り方及び普及促進に関する検討会（第 1 回）配付資料＜平成 20 年 4 月 24 日開催＞
- 参考海共 WG1-2 海上無線システムの普及状況等